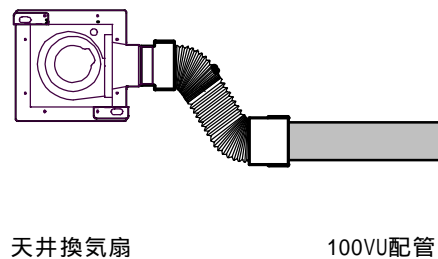
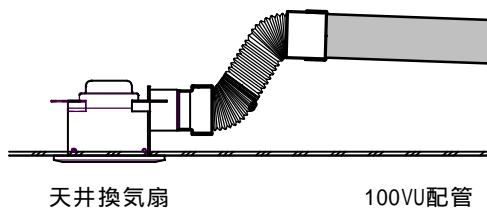
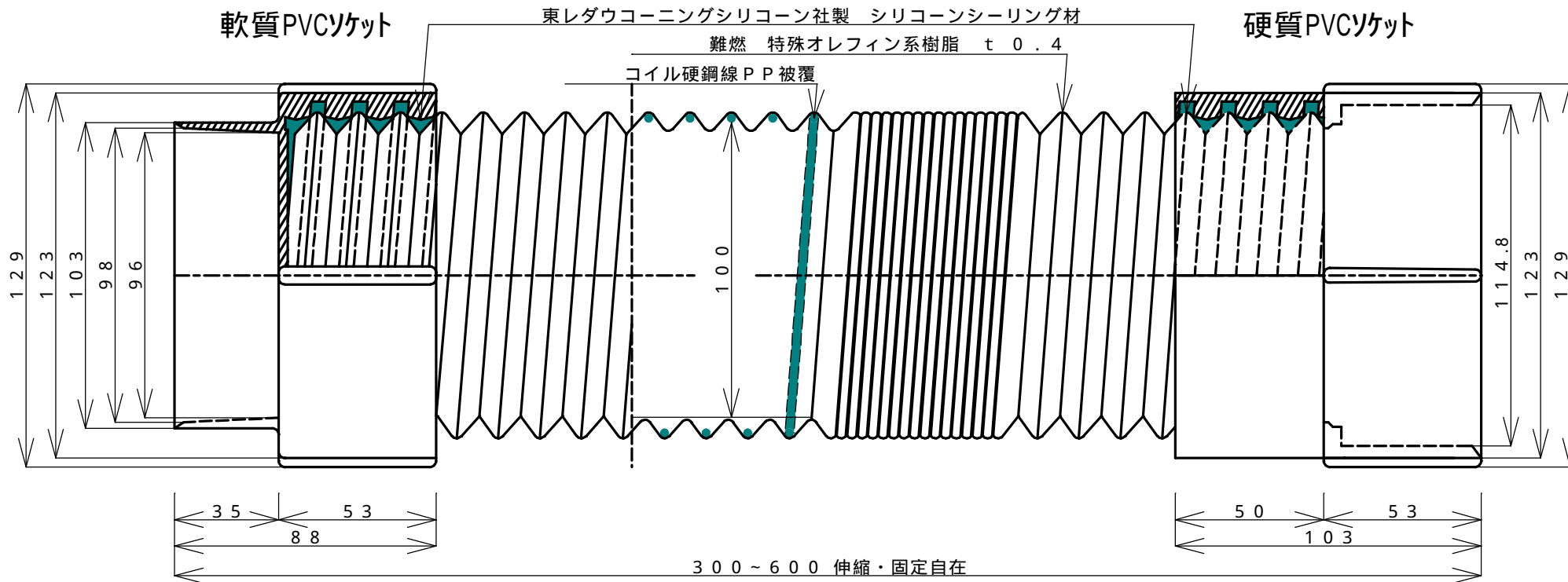


天井換気扇側

軟質PVCソケット

100VU配管側

硬質PVCソケット

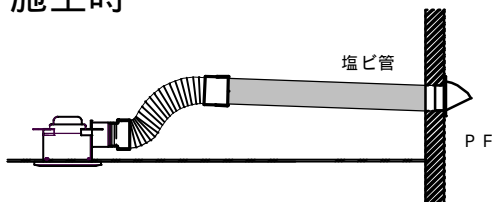


ホース材質	コイル硬鋼線 + 難燃特殊オレフィン系樹脂		
継手部材質	換気扇側: 軟質塩ビ / 配管側: 硬質塩ビ		

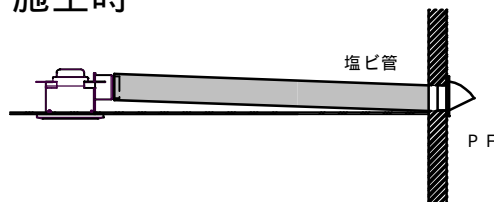
納入先		客先機番	客先図番
承認	T.K	図法	品名
		N・T	タイガー 100
確認	M.K	尺度	品番
		N・T・S	品番 ハンド付 TG-100-6B
作成	Y.T		品番 ハンド無 TG-100-6
			図番
NT 株式会社		日本テクノ	

塩ビダクト配管との接続に フレキ配管の必要性のご説明

施工時

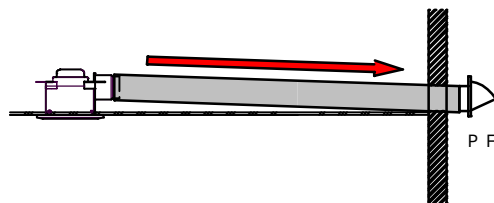
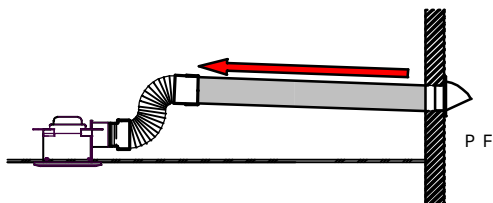


施工時

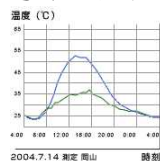


小屋裏温度上昇時

塩ビ配管は熱膨張により負荷の少ない方に伸びて行く



小屋裏温度と塩ビ配管の伸び



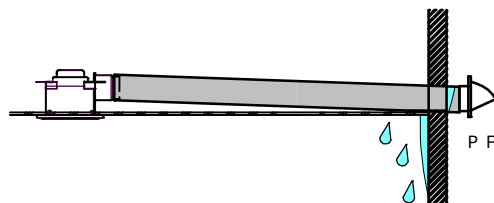
真夏の小屋裏温度は50～60で
施工時が冬場ですと、小屋裏
の温度差 (T) は約60です

$$L = L \times \text{塩ビ線膨張係数} \times T \text{の式より}$$

$$= 10000 \times 7 \times 10^{-5} \times 60 = 42\text{mm} / 10\text{m} = 4.2\text{mm} / \text{m}$$

2.5mで1cm以上伸び、P.F・V.C類の
コーキングのクラック等により雨漏り発生
の原因となります。

雨漏り原因となる

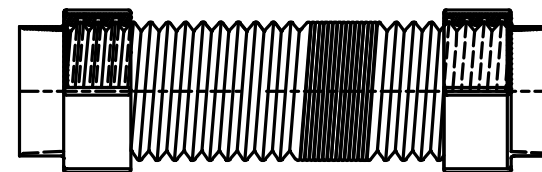


スパイラルダクト配管との 接続方法のご説明

ご注文時に両端軟質塩ビソケットでご注文下さい。
バンドも2本同時にご注文下さい。

両端が軟質塩ビソケットを使用して接続します。

軟質塩ビ
ソケット

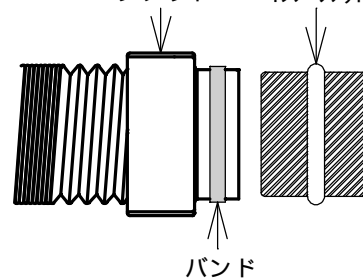


軟質塩ビ
ソケット

スパイラルダクトとの接続施工方法

軟質塩ビ
ソケット

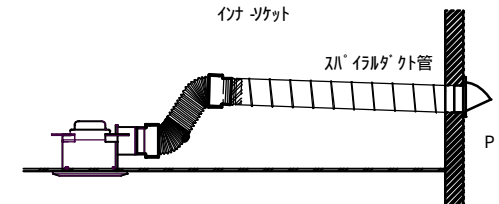
スパイラル用
インナソケット



バンド

スパイラル用
インナソケット

スパイラルダクト外管



承認	T.K.	図法	品名
		N・T	タイガー100
確認	M.K.	尺度	品番
		N・T・S	バンド付 TG-100-6B
作成	Y.T.		バンド無 TG-100-6
			図番